

2015年4月22日

JFEエンジニアリング株式会社

Jファーム苫小牧株式会社

高糖度トマトをシンガポールで販売 ～Jファーム苫小牧よりシンガポール明治屋に出荷開始～

JFEエンジニアリング株式会社(本社:東京都千代田区、社長:狩野久宣)のグループ会社であるJファーム苫小牧株式会社(本社:北海道苫小牧市、社長:木村康一)は、苫小牧市のスマートアグリプラントで生産したトマトを「シンガポール明治屋」に出荷することになりましたので、お知らせします。

Jファーム苫小牧では、トマトやベビーリーフの生産量の増加に伴い国内外への販路拡充に努める中、シンガポール明治屋が開催する「北海道フェア(4/17～26)」「感謝祭(4/24～5/3)」において、糖度10以上の高糖度トマト等の試食販売を行います。

現在、シンガポール国内の野菜自給率は1割に留まっており、流通する野菜は大半が中国やマレーシアからの輸入品です。ごくわずかな日本からの輸入野菜に対し、「おいしい」「安全・安心」という理由で同国の富裕層を中心にニーズが高まっています。

JFEエンジニアリングは、現在苫小牧市のスマートアグリプラントの拡充を進めており、開発中の自社ブランド高糖度トマト『スマートルビー』の栽培を行う予定です。JFEエンジニアリングは、こうした高付加価値品種を国内外に展開し、自社農業ビジネスを成長させるとともに、スマートアグリプラントの拡販を目指します。

当社グループは、今後も力強い日本の農業の形づくりに貢献してまいります。



□(写真)シンガポール明治屋北海道フェアでの試食販売の状況

本件に関するお問い合わせは下記にお願いいたします。

JFEエンジニアリング株式会社 総務部広報室